

京都大学文学部卒業生アンケート集計結果

令和2年3月実施

京都大学文学部・文学研究科では、卒業時・終了時にアンケートを実施し、教育研究活動の自己点検・評価に役立てるとともに、その集計結果を公開しています。卒業生の皆さん、ご協力ありがとうございました。

【結果の概評】

今年度は卒業生 209 名に対して、168 名より回答を得ることができ、回答率は 80.4% になった。昨年度より回答率は低いですが、コロナウイルス感染で大学全体の卒業式が中止になったことを考えれば、致し方ない面もあると思われる。

回答結果の傾向は例年と変わらない。Q.03「あなたは文学部で学んだことに満足していますか？」では、約 80% が「充分」または「それなり」に満足していると回答しており、文学部の教育に対する満足度の高さがうかがわれる。また、Q.02 の「京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としています。これに関連して、あなたは文学部での授業について、自学自習の能力が養われるような形で行われていると思いますか？」について、昨年度と同様、約 70% が自学自習の能力が「充分」または「ある程度」養われるような形で行われていると回答しており、本学部の特徴であり続けている。

Q.05「文学部で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものはありますか？」(複数回答可)では、「一般的な教養」(63.7%)、「自分で問題を発見し、解決を図る能力」(53.6%)、「専門的知識」(45.8%)が高く、文学部の教育の特長が反映されていると思われる。一方で、「専門分野の研究能力」(35.7%)や「外国語の能力」(19.6%)が、修士課程修士アンケートに比べてかなり低い数字にとどまっていることを考慮すると、学部教育にはなお工夫の余地があるかもしれない。

文学部のディプロマ・ポリシーの達成状況については、(Q.07)「人文学に関わる基礎学力を有し、その専門領域としての哲学・歴史学・文学・行動科学について深い理解力を持ち、また学修成果を卒業論文として集大成できる問題探求能力、分析能力、表現能力を身につけている」、および(Q.08)「人文学に関わる課題について、問題を解決する力を具え、具体的に取り組むことができる」については、60%を超える方が「達成できた」または「ある程度達成できた」と答えているのに対して、(Q.09)「人文学の意義と重要性を理解し、高い倫理性をもって、その発展に貢献することができる」、(Q.10)「自由で批判的な精神と良識を具え、人類が直面する課題を直視し、問題の解決に積極的に寄与することができる」については、「達成できた」または「ある程度達成できた」との回答が、昨年をやや下回って 55% 前後にとどまった。変化は誤差の範囲と言えるかもしれないものの、人文学の意義についてよりは積極的に教育する必要があるのかもしれない。

全学共通科目について(Q.11~15)も、昨年とほぼ同じ回答傾向であった。具体的には、Q.11「専門以外の幅広い知識・教養」とQ.12「専門分野で基礎となる学力」は80%を越える方が「大いに」または「ある程度」向上したと答えたのに対し、Q.13「英語の能力(英語以外の言語を第1外国語とした方は、その言語の能力)」については、「大いに」または「ある程度」向上したと答えた方が半数にとどまり、英語教育については改善の余地があることを示している。

【自由記述欄】

今年度は、総回答数が昨年を下回っているにもかかわらず、任意の自由記述が多かった。

内容は多岐にわたっている。履修に関する情報提供や書類の提出方法、休講情報の提供方法、施設の問題点など、具体的に検討すべき課題も多く指摘された。しかし、それ以上に大きな問題は、管理の強化を批判し、「自由の学風」や「自学自習」の空洞化を嘆く声が増加した点である。中には、このような潮流の背景までも見透かしたかのような指摘まである。教員側の授業の工夫等によって改善できる部分も少なからずあろうが、管理の強化と学生の自主性に委ねる部分の縮小は、全国的な制度や全学的な方針の変更により強いられる形で、文学部においても否応なく対応を迫られたという側面が間違いなく存在する。大学における自由の縮小を批判する声が学生から澎湃と湧き上がっている状況をどのように受け止めるべきか、部局として再考する時期に差しかかっているのかもしれない。

アンケート名 令和元（2019）年度卒業生アンケート

部局 文学部

対象者数 209

回答者数 168

回答率 80.4

結果 (Q.01) あなたは入学前に京都大学オープンキャンパスに参加しましたか？

- A: はい (85票/50.6%)
- B: いいえ (83票/49.4%)
- C: 無回答 (0票/0%)



(Q.02) 京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としています。これに関連して、あなたは文学部での授業について、自学自習の能力が養われるような形で行われていると思いますか？

- A: 自学自習の能力が十分に養われるような形で行われている (33票/19.6%)
- B: 自学自習の能力がある程度養われるような形で行われている (84票/50%)
- C: どちらとも言えない (35票/20.8%)
- D: 自学自習の能力が養われるような形で行われていない (13票/7.7%)
- E: その他 (2票/1.2%)
- F: 無回答 (1票/0.6%)



(Q.03) あなたは文学部（特に所属専修）で学んだことに満足していますか？

- A: 十分に満足している (39票/23.2%)
- B: それなりに満足している (96票/57.1%)
- C: どちらとも言えない (24票/14.3%)
- D: 後悔している (8票/4.8%)
- E: その他 (1票/0.6%)
- F: 無回答 (0票/0%)



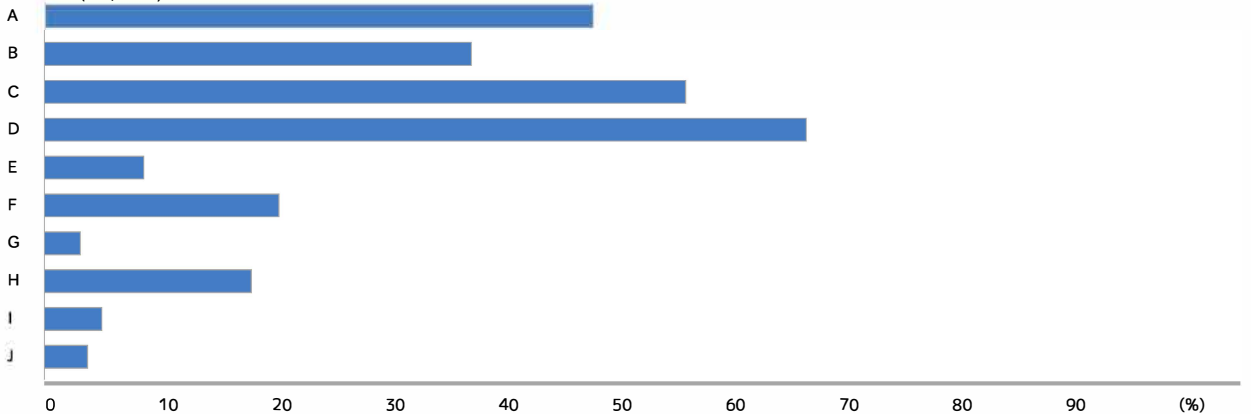
(Q.04) 4月以降の進路についてお聞きします。

- A: 大学院進学（他大学も含む） (46票/27.4%)
- B: 一般企業に就職 (92票/54.8%)
- C: 官庁、地方自治体等に就職 (10票/6%)
- D: 教員、司書等の専門職に就職 (0票/0%)
- E: その他 (1票/0.6%)
- F: 無回答 (19票/11.3%)



(Q.05) 文学部で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものはありますか？（複数回答可）

- A: 専門的知識 (77票/45.8%)
- B: 専門分野の研究能力 (60票/35.7%)
- C: 自分で問題を発見し、解決を図る能力 (90票/53.6%)
- D: 一般的な教養 (107票/63.7%)
- E: 国際感覚 (14票/8.3%)
- F: 外国語の能力 (33票/19.6%)
- G: リーダーシップ (5票/3%)
- H: 社会的常識 (29票/17.3%)
- I: その他 (8票/4.8%)
- J: 無回答 (6票/3.6%)



(Q.06) 差し支えなければ、あなたが所属していた系を教えてください。

- A: 哲学基礎文化学系 (28票/16.7%)
- B: 東洋文化学系 (23票/13.7%)
- C: 西洋文化学系 (17票/10.1%)
- D: 歴史基礎文化学系 (30票/17.9%)
- E: 行動・環境文化学系 (46票/27.4%)
- F: 基礎現代文化学系 (18票/10.7%)
- G: 無回答 (6票/3.6%)



(Q.07) 以下、Q.07からQ.10で、文学部のディプロマポリシーについてお伺いします。以下の項目についてどの程度達成できたか教えてください。

人文学に関わる基礎的学識を有し、その専門領域としての哲学・歴史学・文学・行動科学について深い理解力を持ち、また学修成果を卒業論文として集大成できる問題探求能力、分析能力、表現能力を身につけている。

- A: 達成できた (23票/13.7%)
- B: ある程度達成できた (82票/48.8%)
- C: どちらとも言えない (36票/21.4%)
- D: あまり達成できなかった (19票/11.3%)
- E: 達成できなかった (6票/3.6%)
- F: 無回答 (2票/1.2%)



(Q.08) 人文学に関わる課題について、問題を発見し解決する力を具え、創造的に取り組むことができる。

- A: 達成できた (30票/17.9%)
- B: ある程度達成できた (75票/44.6%)
- C: どちらとも言えない (35票/20.8%)
- D: あまり達成できなかった (18票/10.7%)
- E: 達成できなかった (8票/4.8%)
- F: 無回答 (2票/1.2%)



(Q.09) 人文学の意義と重要性を理解し、高い倫理性をもって、その発展に貢献することができる。

- A: 達成できた (33票/19.6%)
- B: ある程度達成できた (59票/35.1%)
- C: どちらとも言えない (51票/30.4%)
- D: あまり達成できなかった (16票/9.5%)
- E: 達成できなかった (7票/4.2%)
- F: 無回答 (2票/1.2%)



(Q.10) 自由で批判的な精神と良識を具え、人類が直面する課題を直視し、問題の解決に積極的に寄与することができる。

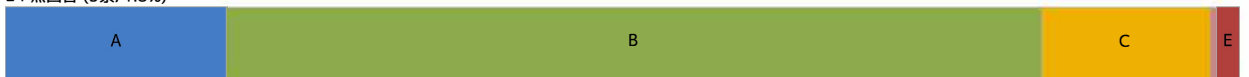
- A: 達成できた (30票/17.9%)
- B: ある程度達成できた (63票/37.5%)
- C: どちらとも言えない (47票/28%)
- D: あまり達成できなかった (17票/10.1%)
- E: 達成できなかった (9票/5.4%)
- F: 無回答 (2票/1.2%)



(Q.11) 以下、Q.11からQ.15で、全学共通科目の学習についてお伺いします。入学当初と比べ、以下の項目はどの程度向上した又は得られたと思いますか。(一つ選択。無回答も許可する。)

専門以外の幅広い知識・教養

- A: 大いに向上した (30票/17.9%)
- B: ある程度向上した (111票/66.1%)
- C: あまり向上しなかった (23票/13.7%)
- D: 全く向上しなかった (1票/0.6%)
- E: 無回答 (3票/1.8%)



- (Q.12) 専門分野で基礎となる学力
 A: 大いに向上した (32票/19%)
 B: ある程度向上した (107票/63.7%)
 C: あまり向上しなかった (24票/14.3%)
 D: 全く向上しなかった (2票/1.2%)
 E: 無回答 (3票/1.8%)



- (Q.13) 英語の能力 (英語以外の言語を第1外国語とした方は、その言語の能力)
 A: 大いに向上した (11票/6.5%)
 B: ある程度向上した (79票/47%)
 C: あまり向上しなかった (60票/35.7%)
 D: 全く向上しなかった (15票/8.9%)
 E: 無回答 (3票/1.8%)



- (Q.14) 初修外国語の能力
 A: 大いに向上した (21票/12.5%)
 B: ある程度向上した (90票/53.6%)
 C: あまり向上しなかった (40票/23.8%)
 D: 全く向上しなかった (14票/8.3%)
 E: 初修外国語は修得しなかった (0票/0%)
 F: 無回答 (3票/1.8%)



- (Q.15) 将来の研究分野や進路を決める手がかり
 A: 大いに得られた (24票/14.3%)
 B: ある程度得られた (76票/45.2%)
 C: あまり得られなかった (49票/29.2%)
 D: 全く得られなかった (16票/9.5%)
 E: 無回答 (3票/1.8%)



(Q.16) その他意見・要望等がありましたら、ご自由にお書きください。